

# 令和4年度鳥取県小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業(研修協力校事業)取組報告書 ～岩美町立岩美西小学校・岩美南小学校・岩美北小学校～

## 研究テーマ

学習した表現を用いて、自分のことや身近なことを生き生きと発信し、様々な人々と意欲的につながることのできる児童の育成

## 研究テーマに対する具体的な取組の内容

- ①コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確にしたバックワード・デザインによる授業設計
  - ・単元終末での活動や、どんなことができるようになるかといったゴールイメージを児童と共有し、単元計画を立てて提示する。
  - ・単元ごとにCAN-DOリストを作成し、インタビューやスピーチ、ビデオレターの作成など、相手意識をもって自分の考えや気持ちを表現することのできる多様な活動を工夫し評価に生かす。
- ②Small Talkの継続・充実
  - ・既習内容を取り入れたまとまった内容を聞く活動を積み重ね、推測しながら大まかな内容を理解する力の定着を図る。
  - ・自分や相手に関する事柄や日常生活に関する身近で簡単な事柄について、既習内容を活用しながら会話を続けたり、うまく言えなかった言い方を話し合ったりしながら、児童自身がステップアップを実感できるようにする。
- ③系統的な言語活動の実施
  - ・アルファベットや単語をたくさん目にできるような教材や活動を工夫し、文字への慣れ親しみを促す。
  - ・高学年では、単語や文を読んだり書いたりする活動をスモールステップで取り入れ、中学校への滑らかな接続を図る。
  - ・読んだり書いたりした成果物を用いて単元終末のコミュニケーション活動を充実させる。

## 成果①

### 【外国語の学習アンケート結果】

(3～6年生3校平均)

- ・「英語の学習が好き・楽しい」  
… 90 % (昨年度82%)
- ・「英語を使ってできることが増えた」  
… 98 % (昨年度91%)

○どの学年の児童も外国語の学習に意欲的に取り組む姿が見られた。CAN-DOリストを明確に示し、ゴールイメージをもって学習に取り組むことで、一人一人の児童が意欲や目標をもって学習に取り組むことができた。



## 成果②

- インタビューやスピーチ、ビデオレターの作成や画像を用いたクイズ作りなど、目的に応じて多様な活動を取り入れることにより、児童が意欲的に何度も英語で話す機会が増え、自信や達成感につながった。
- 学期に1回程度行うパフォーマンステストでは、多くの児童が自信をもって単元で習得した表現を用いたやり取りをすることができた。
- Small Talkでは、反応の表現を継続的に指導し活用を促した。反応や質問をすることで会話が楽しくなると感じる児童が増え、積極的に会話を続けようとする姿が見られるようになった。



## 今後の課題・方向性

### ●児童の学習状況の見取り・評価

1時間の授業の中で、一人一人の児童の学習状況の把握や評価を十分に行うことが難しい場面が多かった。より細やかに児童の観察や評価を行うことができるよう、評価方法を工夫したり支援員の先生との分担や共有を密にしたりしていきたい。

### ●ICTの効果的な活用

ICTを活用することで、学習内容をより深く理解できたり、伝えたいことをより分かりやすく伝えたりすることが増えた。さらにどのような効果的な活用法があるのかを研究し、積極的に活用していきたい。

